

第29回防衛大学校同窓会テニス大会

令和8年5月15日(金)、第29回となる防大同窓会テニス大会が「有明テニスの森公園」で開催されました。今大会より優勝トロフィーが優雅でコンパクトな優勝シャーレに更新されたことにより優勝者が1年間自宅等に持ち帰り栄光を深く味わえるようになりました。

さて、有明テニスの森公園は日本におけるテニスの聖地とされる場所であり、アマチュアからプロまでテニスプレーヤーであれば一度は有明コロシアム(センターコート)に立ってみたいと夢見る有名なところですが、大会会場はベテランプレーヤーの足腰にも優しいオムニ(砂入り人工芝)で、全国的にも珍しい砂も芝も目の覚めるような「青」一色のきれいなコートが16面広がっています。当日は朝方下層雲の曇りでしたが、開会式が終わると下層雲は消散し北風が気持ちの良い晴天が広がり絶好のテニス日和となりました。

例年全般を取り仕切る森岡ディレクター(29期)が中国出張のため不在となり、開会式は篠原アシスタントディレクター(30期)の開会宣言に続き、丸茂大会会長の代理として出席した中尾大会副会長(29期)から、「私は過去に同期から散々な目にあわされてテニスはほしくないことにしましたが皆さんのプレーを楽しみにしています」と笑いを取られ「くれぐれも怪我のないようプレーしましょう」と挨拶がありました。その後、篠原レフリー(30期兼務)からルール説明及び飯田会計(31期)からの管理事項説明が行われました。



開会式と参加者

新調された優勝シャーレ



中尾大会副会長挨拶



篠原アシスタントディレクターによるルール説明



飯田会計からの管理事項説明



全16面コート同時での熱戦

本大会は1期～34期までを5つのクラス、「レジェンド」(1～10期)、「スーパーグランドシニア」(11～16期)、「グランドシニア」(17～22期)、「シニア」(23～28期)、「レギュラー」(29～34期)に分けて競技が行われました。

「レジェンド」は、誰もが参加し易くするため、ペア参加(申込)ではなく一人参加(申込)とし試合はダブルス戦、公平なペアの組合せのためテニス乱数表(Pro DOUBLES)を使用しました。成績は個人の勝率が高い方から順位を決定(1位～3位)しました。「スーパーグランドシニア」は同期ペアによる個人戦とし、テニス乱数表(Pro DOUBLES)を使用しました。成績は個人の勝率が高い方から順位を決定(1位～3位)しました。そして「グランドシニア」、「シニア」の2クラスは各期ダブルス5組による期別対抗団体戦の方式で行いました。「レギュラー」は参加人数が少なく期別対抗のチーム編成が困難なことから30期チームと31・32・33期混成チームの一騎打ちで実施しました。



レジェンドの雄姿

スーパーグランドシニアの雄姿

全国から集まった 148 名は日頃の鍛錬の成果を存分に発揮し、16 面のコートで熱戦を繰り広げ、大きな弧や鋭い直線を描く黄色いテニスボールは新緑と青いコートによく映えていました。「レジェンド」の選手も他のクラスに負けない熱く軽快なプレーを見せていました。

また、コート内ではペア同士の掛け声、コート脇からは同期の応援の声が響き渡り、そしてコート外では先輩・後輩が再会を喜び昔話に花を咲かせるなど、会場全体が同窓会ならではの和やかで、かつ終始活気にあふれていました。

大会運営は篠原ADのコート変更などの迅速な対応により、全試合が大きなトラブルや怪我もなく順調に進行しました。白熱した試合が多く最終ゲームであるグランドシニアの優勝決定戦が終了した時間は例年より 1 時間ほど延長されました。

閉会式では中尾大会副会長から「人口動向でもテニス人口も 60 歳以上のみが増加傾向であり来年も元気に集まりましょう」と挨拶がありました。また、道上運営委員長(22 期)の閉会の挨拶において「参加者動向が変化しており大会の運営要領を大きく改善する必要があるのでアイデアを提供してほしい」と呼びかけられました。



西日が強まる最終ゲーム(グランドシニア決勝)



閉会式(中尾大会副会長挨拶)



道上運営委員長閉会の挨拶

【試合結果】(以下、敬称略:写真は優勝者)

「レジェンド」クラス(1～10期)

- ・クラス担当者: 7期 龍岡、9期 高間
- ・試合方式: 異なるダブルスペアで戦い、個人の勝率を競う個人戦

優勝	高間 庄一(9期)
準優勝	龍岡 資臣(7期)
第3位	日高 久萬男(9期)



「スーパーグランドシニア」クラス(11～16期)

- ・クラス担当者: 15期 加藤、16期 古谷
- ・試合方式: 同期ダブルスペアで戦い、ペアの勝率を競う個人戦

優勝	源 外志明・古谷 地良(16期)
準優勝	北村 善信・坂東 政一(14期)
第3位	澤 征史・渡部 貞吉(11期)



「グランドシニア」クラス(17～22期)

- ・クラス担当者:21期 小野田、22期 千田
- ・試合方式:各期ダブルス5組による期別対抗団体戦

優勝	22期
準優勝	18期
第3位	21期



「シニア」クラス(23～28期)

- ・クラス担当者:26期 佐藤、28期 鶴田
- ・試合方式:各期ダブルス5組による期別対抗団体戦

優勝	26期
準優勝	28期
第3位	25期



「レギュラー」クラス(29～34期)

- ・クラス担当者:30期 篠原、31期 飯田
- ・試合方式:各期ダブルス5組による期別対抗団体戦が行えず2チーム各3組による一騎打ち

優勝	30期
準優勝	31・32・33期混成



【大会役員等】

大会役員	大会会長	大会会長 同窓会会長 丸茂 吉成(27期) 代理 副会長 同副会長 中尾 剛久(29期)
	大会顧問	井川 宏(2期)、龍岡 資臣(7期)
	大会総務	高草木 浩寿(33期)、芳賀 和典(34期)
競技役員	運営委員長	道上 正邦(22期)
	運営委員	欠(1期)、欠(2期)、欠(3期)、欠(4期)、 松本 勲(5期)、欠(6期)、龍岡 資臣(7期)、笠井 健介(8期)、 高間 庄一(9期)、欠(10期)、児玉 和敏(11期)、 松本 圭介(12期)、湯川 正修(13期)、北村 善信(14期)、 加藤 三千夫(15期)、古谷 地良(16期)、横山 俊昭(17期)、 原田 幸治(18期)、塚本 賢二(19期)、千川 一司(20期)、 村田 康二(21期)、千田 健一(22期)、坂口 敏朗(23期)、 池川 昭司(24期)、大倉 育信(25期)、佐藤 末明(26期)、 荒木 淳一(27期)、鶴田 眞一(28期)、森岡 進(29期兼)、 篠原 啓一郎(30期兼)、飯田 康紀(31期兼)、 田中 康彦(32期)、鈴木 武則(33期)、欠(34期)
	ディレクター	森岡 進(29期)
	アシスタント・ディレクター	篠原 啓一郎(30期兼)
	会計	飯田 康紀(31期兼)
	レフリー	篠原 啓一郎(30期兼)

【お知らせ】

第30回大会は令和9年5月に有明テニスの森公園での開催を予定しています。皆様奮ってご参加いただきますよう同窓会一同お待ちしております。参加を希望される方は各期運営委員へ、または期生会を通じてお知らせください。

(事業部 34期空 芳賀 和典 記)